

第1回 東京都版市場化テストモデル事業監理委員会 次第

日 時 平成18年10月3日(火) 14時～
場 所 第一本庁舎33階 特別会議室N3

議 題

- 1 東京都版市場化テストモデル事業実施要項(案)について
- 2 その他

<配布資料>

- 資料1 東京都版市場化テストモデル事業監理委員会設置要綱
- 資料2 東京都版市場化テストモデル事業実施要項(案)(7件分)
- 資料3 東京都版市場化テストモデル事業落札者決定基準(案)(7件分)

- 参考1 東京都版市場化テストモデル事業実施方針
- 参考2 東京都版市場化テストモデル事業監理委員会委員名簿
- 参考3 東京都版市場化テストの概要及びスケジュール(案)
- 参考4 対象科目の選定について
- 参考5 専門学校等に対するアンケート調査結果について

※ 資料2及び3については、入札公告をご参照下さい。

東京都版市場化テストモデル事業監理委員会設置要綱

(目 的)

第1 この要綱は、東京都版市場化テストモデル事業の実施について、その透明性、中立性及び公正性を確保するために設置する東京都版市場化テストモデル事業監理委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について、必要な事項を定める。

(所掌事項)

第2 委員会は、東京都版市場化テストモデル事業の実施に係る以下の事項に対する監理を行うものとする。

- (1) 対象事業の選定
- (2) 業務の質や内容、官民の競争に係る入札等の手続、提案書類の評価基準等を定める
実施要項の作成
- (3) 落札者の決定に係る評価内容
- (4) 事業実施のモニタリング
- (5) 事業実施後の評価内容

(委員会の構成等)

第3 委員会は、5名以内において、次の者をもって構成する。

委員長 学識経験者

委 員 公認会計士

総務局行政改革推進部長

財務局経理部長

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指定する者がその職務を代理する。
- 4 委員長は、専門的な見地から意見を聴取するため、必要に応じ、委員会に対象事業に精通した専門委員を置くことができる。

(会 議)

第4 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員長は、会議の議長となる。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、委員及び専門委員以外の者を委員会に出席させることができる。

(禁止事項)

第5 委員は、委員会を通じて知った情報を公表してはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第6 委員会の庶務は、総務局行政改革推進部行政改革課及び財務局経理部総務課において処理する。

(その他)

第7 この要綱に定めるもののほか、委員会の実施に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮り定めるものとする。

(付則)

この要綱は、平成18年9月26日から施行する。

東京都版市場化テストモデル事業実施方針

1 東京都版市場化テストの趣旨

「行財政改革の新たな指針」（平成 17 年 11 月）及び「行財政改革実行プログラム」（平成 18 年 7 月）に基づき、これまで民間開放が困難とされてきた分野に関し、公共サービスの質の向上とコストの縮減を一層進めるため、官と民との競い合いを実現する東京都版市場化テストを導入することとする。国においては、市場化テストの導入に向けて、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」が成立したが、地方自治体の対象となる特定公共サービスは、住民票の写しの交付などの窓口業務に限定されているため、都では、同法によらない効果的、効率的な導入の検討を進める必要がある。

2 モデル事業の目的

東京都版市場化テストの本格実施に先立ち、制度設計を行ううえで必要な事項を検証するため、モデル事業を実施する。検証する内容は以下のとおり。

- (1) 官民の公正な競争の方法
- (2) 価格と質を適切に評価する手法
- (3) モニタリングの手法
- (4) 事業実施後の評価の方法（モデル事業自体の評価、市場化テスト後の事業の取扱）

3 技術専門校の選定等

(1) 技術専門校の選定

庁内検討会において選定し、東京都版市場化テストモデル事業監理委員会の意見を聴いた上で決定する。なお、選定にあたっては、民間等の意見を参考とする。

(2) 事業内容の公表

選定した技術専門校及び科目を実施要項において公表する。

4 実施期間

平成 18 年度中に官民競争入札を実施し、平成 19 年度に事業を開始する。

なお、民間事業者が落札した場合、履行状況が良好と認められるときは、モデル事業終了後も引き続き、複数年、同事業者に委託することを検討する。

5 東京都版市場化テストモデル事業監理委員会の設置

官と民の公正・透明・中立な競争を確保するため、東京都版市場化テストモデル事業監理委員会を設置する。

(1) 所掌事項

委員会は、東京都版市場化テストモデル事業の実施に係る以下の事項に対する監理を行うものとする。

- ① 対象事業の選定
 - ② 業務の質や内容、官民の競争に係る入札等の手続、提案書類の評価基準等を定める実施要項の作成
 - ③ 落札者の決定に係る評価内容
 - ④ 事業実施のモニタリング
 - ⑤ 事業実施後の評価内容
- (市場化テストの継続、直営による実施、民間委託化、民間への移譲(事業廃止))

(2) 委員構成

官と民との公正な競争を確保するため、当該局以外の職員(財務局、総務局行政改革推進部の幹部職員)と民間委員(学識経験者、公認会計士、専門委員)で構成する。

6 実施要項

実施要項では以下のことを定める。

- (1) 対象技術専門校及び対象科目
- (2) 業務の詳細な内容と質(要求水準)
- (3) 実施期間
- (4) 対象業務の過去の事業実績
 - ① 経費
 - ② 人員
 - ③ 施設(設備)
 - ④ 事業成果
- (5) 入札参加資格
- (6) 入札参加者の募集手続き
- (7) 提案書類の評価の基準及び落札者の決定
- (8) 都職員(入札執行職員と入札に参加する事務の担当職員)の情報遮断措置
- (9) 民間事業者が落札した場合の事項
 - ① 使用可能な公有財産
 - ② 報告義務(利用者アンケートの実施含む)、守秘措置等
 - ③ リスク分担、第三者への賠償責任等
 - ④ 委託費の支払方法
- (10) その他

東京都版市場化テストモデル事業監理委員会 委員名簿

(平成 18 年 10 月 3 日現在)

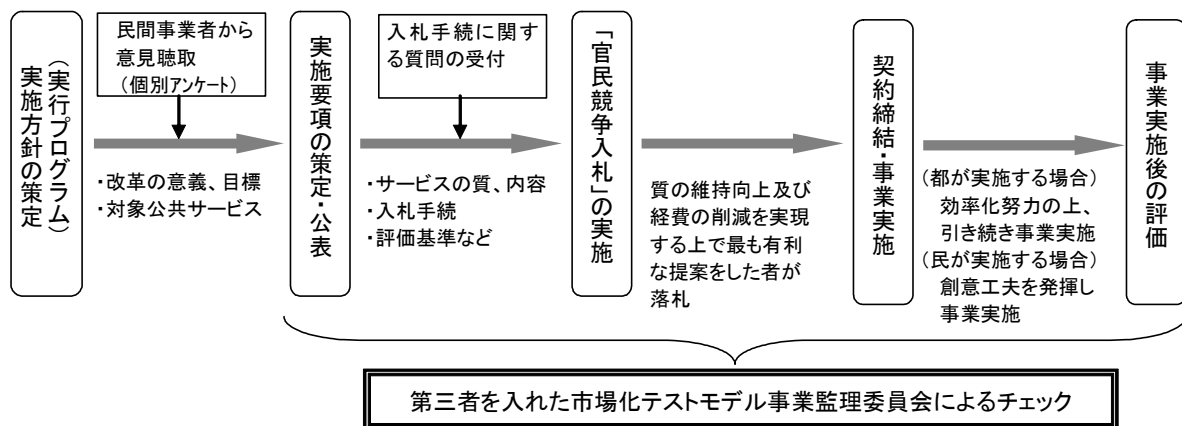
	氏 名	役 職
委員長	根本 祐二	東洋大学教授
委 員	灰原 芳夫	公認会計士
〃	松崎 茂	東京都総務局行政改革推進部長
〃	泉本 和秀	東京都財務局経理部長
専門委員	有我 明則	社団法人東京都専修学校各種学校協会事務局次長

東京都版市場化テストの概要及びスケジュール（案）

1 市場化テストとは

「官」と「民」が公正・中立・透明な競争条件のもと公共サービスの提供についての競争入札を実施し、より優れた事業主体を選定することにより、質の維持向上と経費の削減を図ることを目的としたもの。

<市場化テストモデル事業の流れ>



2 東京都版市場化テストの実施

公共サービスの質の向上とコストの削減を一層進めるため、「東京都版市場化テスト」を導入し、官と民との競い合いを実現する。

<モデル事業の実施（予定）>

平成18年度において、モデル事業として、都立技術専門校において、官民競争入札を実施する。

平成18年 7月	行財政改革実行プログラム
平成18年 8月	民間事業者意見募集
平成18年10月16日	入札公告（公告後、民間の質問受付）
平成18年12月 5日	事業計画書及び入札書の受付
平成18年12月18日	業務実施者の決定
平成19年 4月～	事業の開始

<本格実施>

平成19年度以降、対象科目をさらに拡大するとともに、他の業務への拡大も検討し、市場化テストを本格実施していく。なお、本格実施では、対象業務の選定にあっても、民間事業者等の意見を募集していく。

対象科目の選定について

1 普通課程訓練（2年、1年コース）

現状では普通課程の民間委託が認められていないため、引続き、国に見直しを働きかけるとともに、必要性を整理しつつ、19年度以降の市場化テストの対象とする。

2 短期課程訓練（3ヶ月、2ヶ月コース）

過去の実績を踏まえ、必要性を整理しつつ、市場化テストにかけることなく、民間委託訓練（施設外訓練）に移行する。

3 短期課程訓練（6ヶ月コース）

(1) 一定規模の民間の受け皿がある科目を市場化テストの対象とする。

東京都総務局ホームページでの意見聴取や、専門学校などの個別アンケート調査の結果を踏まえ、民間で実施可能としている科目から選定する。

(2) 科目改変、法令改正などにより、訓練基準の見直しが必要なものについては、19年度以降実施する。

<実施予定科目>

科目名	技術専門校	訓練期間
ネットワーク構築	有明分校	6ヶ月
貿易実務	有明分校	
医療事務	飯田橋校、八王子校	
ビジネス経理	高年齢者校	
経営管理実務	高年齢者校、府中校	

専門学校等に対するアンケート調査結果について

参加を希望する科目		実施可能範囲			
科目名	期間	a 訓練のみ	b 就職斡旋 まで	c その他	a~c 計
自動車整備工学	2年		2		2
建築住環境設計	2年		2		2
情報工学	2年		2		2
自動車車体整備	2年		2		2
ネットワークプログラミング	1年		4	1	5
Web設計	1年	1	3	1	5
OAシステム開発	1年		4	1	5
建築設計	1年	1	2		3
インテリアサービス	1年		2	1	3
自動車整備技術	1年		2		2
ファッションパタンナー	1年			1	1
アパレルプランニング	1年			1	1
ネットワーク技術	1年		1		1
建築設備設計	1年		1		1
和裁技術	1年		1		1
パソコングラフィック	1年			1	1
コンピュータ制御システム	1年		1		1
環境分析	1年		1		1
財務管理(デュアル)	9月		1	1	2
ビジネス経理	6月	3	5	2	10
経理実務	6月	3	4	2	9
OAソフト管理	6月		4	2	6
建築CAD	6月		4	1	5
医療事務	6月	3	1	1	5
ネットワーク構築	6月		4	1	5
税務実務	6月	2	2	1	5
CAD製図	6月	1	2	1	4
介護サービス	6月		2	1	3
貿易実務	6月		1	1	2
インテリアリフォーム	6月		1	1	2
経営管理実務	6月	1		1	2
ファッションリテール	6月			1	1
三次元CAD	6月			1	1
ホテル・レストランサービス	6月		1		1
DTP	6月			1	1
調理	6月	1			1
福祉調理	6月	1			1
パソコン実践	3月	4	7	1	12
単位制パソコン	3月	1	5	1	7
ビジネスサービス	2月	3	4	1	8
ビジネスリフレッシュ	2月		2		2
事務系(障害者)	障害者	1			1
CADオペレータ	障害者	1			1
医療事務・介護事務OA科	能力向上		1		1

※ 網掛けは、今回の対象科目

※ 「c その他」は、「就職斡旋をグループ会社で行う」28件、「財務管理(デュアルシステム):インターンシップのコーディネート」1件